

## 地域福祉の向上に尽力され厚生労働大臣特別表彰

6月23日(火)、元民生委員児童委員の三浦美枝子さん(小田野沢)に対し、厚生労働大臣特別表彰を伝達いたしました。

三浦さんは、昭和58年12月から平成31年2月までの約35年間民生委員児童委員として地域での活動もさることながら、村民生委員児童委員協議会長、下北郡民生委員児童委員連絡協議会副会長、県民生委員児童委員協議会理事などの要職をつとめられ、長年にわたり地域福祉の向上に尽力した功績が認められたものです。既に民生委員児童委員は退任されておりますが、これからも地域の福祉向上に寄与することを期待いたします。



写真左：三浦美枝子氏、写真右：越善靖夫村長

## 漁獲量の増大を目指しサクラマス稚魚10万尾放流 ～サクラマス稚魚放流式～

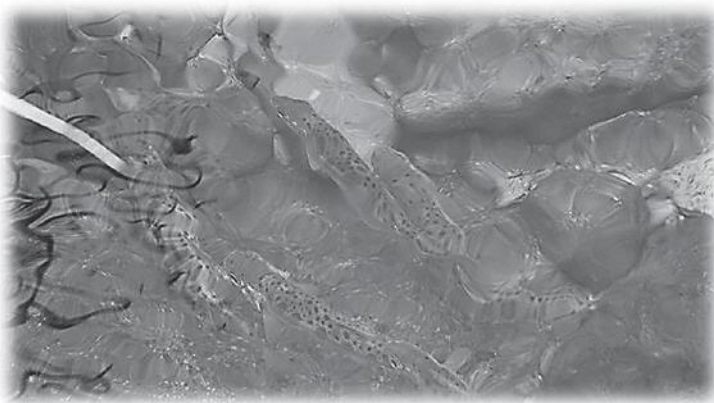
7月1日(水)、村水産振興推進協議会(越善靖夫会長)主催により、老部川内水面保護水域において、サクラマス稚魚放流式が行われ、平均尾又長6.0cm、体重4.0gの稚魚5万尾が村内漁業協同組合長、むつ水産事務所、東北・東京電力など関係者約50名の手により放流されました。

また、6月22日(月)に小老部川、野牛川へ計5万尾を放流しており、今期は合計で10万尾の放流を実施しました。

今年で23回目となるこの放流事業はサクラマス漁獲量の増大を目的に行っている事業であり、村としても「つくり育てる漁業」の重要な魚種として、今後も資源の増大を図っていききたいと考えています。



放流を行う越善会長



放流されたサクラマス稚魚